

かけがわ

# 市議会 だより

第51号

平成27年8月1日

おもな内容 CONTENTS

- 6月定例会の概要 2 ページ
- 常任委員会の委員長報告 3 ページ
- 審議結果と経過 4 ページ
- 一般質問 5 ページ
- 委員会現地視察 10 ページ
- 傍聴席／9月定例会の予定 12 ページ



小笠山の自然に親しむ子供たち(小笠神社)

## 6月定例会

# 10年後の掛川市を見据えて!

平成27年度一般会計補正予算(第3号)を含む8議案、報告3件について、  
本会議・各常任委員会で、活発な議論・審議が行われました。

特に、「第2次掛川市総合計画基本構想」については、  
議案質疑、総務常任委員会付託、討論を経て議決されました。

### 一般会計補正額と 補正後予算

1. 浜松屋解体撤去工事・用地買収	33,800千円
補正後	64,104千円
2. 児童育成事業費	5,616千円
補正後	154,728千円
3. スポーツ施設管理費	1,050千円
補正後	1,917千円

## 第2次掛川市総合計画(掛川市総合戦略書)

### 基本構想

※第2次掛川市総合計画は、基本構想、基本計画、実施計画の3部で構成

### 人口減少対策として、重点的に取り組む4つの戦略の柱

1

#### 掛川市への新しいひとの動きをつくる

- ①交流人口を拡大する
- ②定住・移住を促進する
- ③地域を国際化する
- ④地域の魅力をつくる
- ⑤既存ストックを活用する

2

#### 掛川にしごとをつくり安心して働けるようにする

- ①地域経済を活性化する
- ②起業を支援する
- ③地域産業を創出する
- ④若者・女性・高齢者が活躍する場をつくる
- ⑤ICT環境を活用する
- ⑥ワークライフバランスを実現する

3

#### 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

- ①市民総ぐるみで次世代を育成する
- ②家庭を築ける環境を整備する
- ③希望出生数をかなえるための環境を整備する
- ④子育てを支援する

4

#### 明日の掛川をつくり豊かで潤いのある安心な暮らしを守る

- ①暮らしの安全を確保する
- ②スマートコミュニティの実現を目指す
- ③ユニバーサルデザインの都市環境を整備する
- ④地域の絆づくりを支援する
- ⑤健康寿命を延伸する

# 常任委員会委員長報告

平成27年度補正予算関係議案及び条例関係議案などを議案審査するため、6月26日に3つの常任委員会に分割付託され、以下のような質疑がありました。

## 総務委員会委員長報告(抜粋)

### 一般会計補正予算

- Q 旧浜松屋旅館の解体撤去費の一部を地元負担金として徴収することの真意はどこにあるのか。
- A 本来は地権者が負担すべき経費であるが、地域住民の健康被害を重視しての対応である。地元からの協力要請を受け、地元・地権者・市の三者負担が最善であると判断した。

### 第2次掛川市総合計画基本構想の策定

- Q 戦略方針がクリアできれば人口は増える。しかし、これを実行するには、財源確保が必要であるが、どのように考えるのか。
- A 財政的裏づけがあつてのまちづくりである。財政計画と整合を図りつつ実施計画を策定していく。
- Q 自治基本条例第13条では市議会の議決を経て基本構想を定め、総合計画を策定することを規定している。基本計画や実施計画はどのような形で議会に示されるのか。
- A 今後、基本計画と地域創生総合戦略を策定していくが、議会全員協議会でも報告していく。機会あるごとに情報提供するので意見をいただきたい。
- Q 人口問題は10年では解決できない。長期的な視野と中東遠・志太榛原圏域96万人を意識した構想も必要ではないか。
- A あらゆる施策を展開するときに「広域連携・広域行政・協働」をふまえながら取り組んでいく。
- Q 土地利用構想について、小笠山を有効に利活用すること、三方農地への方策の考えが必要でないか。
- A 基本計画の中で検討していきたい。

## 環境産業委員会委員長報告(抜粋)

### 掛川市手数料条例の一部改正

- Q 条文に管理という字句が入ったが、管理と狩猟の適正化との関連、また、入れた理由は何か。
- A 今までは、鳥獣保護を観点としていたが、生態系が変わってきたことから管理という字句を入れ、鳥獣の数を調整する法律に変わった。
- Q 管理対象は、メジロの登録以外あるのか。
- A メジロだけで、平成24年4月1日から既に飼っているメジロ以外は新規登録を認めない。

## 文教厚生委員会委員長報告(抜粋)

### 放課後児童健全育成事業費の増額補正

- Q 城北小の学童保育所拡充を歓迎するが、対象年齢の広がりもあり不足も予想される。今後を見据えた対応をすべきではないか。
- A 親が働いている子どもの安全安心が課題。4年生から6年生は保育ではなく教育的支援も必要ではないかという観点もある。今後、掛川らしいあり方を全体のバランスを取りながら良い方法を模索する。

## 6月定例会における議案の審議結果一覧

	議 案 名	議決内容
予 算	平成27年度掛川市一般会計補正予算(第3号)について	全会一致可決
条 例	掛川市定年退職者等の再任用に関する条例の一部改正について	賛成多数可決
	掛川市特別職報酬等審議会条例の一部改正について	全会一致可決
	掛川市手数料条例の一部改正について	全会一致可決
その他	第2次掛川市総合計画基本構想の策定について	賛成多数可決
	掛川市道路線の廃止について	全会一致可決
	掛川市道路線の認定について	全会一致可決
報 告	掛川市道路線の変更について	全会一致可決
	平成26年度掛川市一般会計繰越明許費の報告について	受 理
	平成26年度掛川市公共下水道事業特別会計繰越明許費の報告について	受 理
議 発	平成26年度掛川市水道事業会計建設改良費繰越しの報告について	受 理
	掛川市議会会議規則の一部改正について	全会一致可決

### 掛川市議会会議規則の一部を改正しました

近年の男女共同参画の状況にかんがみ、掛川市議会において女性議員が活躍できるよう、会議規則の一部改正を行い、出産にともなう議会の欠席を認める規程を明確にしました。

## 議会報告会を行います

～開かれた議会を目指して～

議会報告会は議会基本条例に基づいて行われ、議会活動について市民のみなさんに説明責任を果たすとともに、みなさんの意見をつかがい、議会活動に反映させるものです。全議員を3班に分け、9会場で議会活動や市政に関する報告と意見交換を行います。

本年度は11月に行う予定です。今後、広報かけがわやホームページ、地区回覧などで日程をお知らせします。多くの方のみなさんの参加をお待ちしています。

## 6月定例会の経過

6月

11日 本会議Ⅱ平成二十七年一般会計補正予算等各議案の市長提案理由説明

静岡県後期高齢者医療広域連合議会議員選挙

24日 本会議Ⅱ一般質問

25日 本会議Ⅱ一般質問

26日 本会議Ⅱ議案一部採決、議案常任委員会付託

常任委員会Ⅱ付託議案審査

7月

6日 本会議Ⅱ常任委員会委員長報告、討論、採決



# 一般質問 Q&A

## 基本構想と地方創生



創世会  
山崎 恒男

**Q** 二〇三〇年以降、年間社会移動人口は、就職期流入超過が百八十人、結婚期流入超過が五十人、住宅需要期流入超過が九十世帯を目標としているが、達成するための具体的施策の見通しについて伺う。

**A** 今後策定する基本計画で検討していくが、基本構想に掲げた4つの戦略の柱ごとに方向性を設け、例えば、交流人口の拡大、地域の魅力の向上、仕事と子育ての両立支援など、幅広く意見や提案をいただきながら、実効性の高い施策を検討していく。

### 目標達成にふさわしい成果目標を設定していく

計画的な市政運営に対応すべく策定した基本構想



計画的な市政運営に対応すべく策定した基本構想

## 協働のまちづくり推進

**Q** 地区役員だけでなく一般市民に対して協働のまちづくりの必要性の理解と活動推進に努めることが大切と思うが、その方策について見解を伺う。

**A** 様々なイベントでの冠付け、広報かけがわへ記事の掲載、中央集会、地区集会、地域意見交換会や出前講座などを通じて説明してきた。今後は、具体的な地区まちづくり協議会の設立準備が進められるので、このような機会を捉えて啓発に努めていく。

### 市民に理解を深めてもらうための啓発に努める

協働のまちづくり推進

## 小中学校の道徳が官制道徳になろうとしている



共産党掛川市議団  
鷺山 喜久

**Q** 掛川の偉人ものがたりなどを活用し、道徳教育などを行っている。このたび、道徳教育を国が定めた特別の教科化とすることで、生徒に特定の考えの押しつけにならないか。また、人格まで評価されないか。

**A** 道徳教育は全教育活動を通じて行うもので、道徳教育の根本は変わらない。教科化されても、国家権力が特定の見方や考え方を押しつけたり、思想や良心の自由を侵したりすることにはならない。

### 道徳が教科化されても特定の考え方に偏ることはない

道徳が教科化されても特定の考え方に偏ることはない

「一部改正学習指導要領」でも「数値などによる評価は行わないものとする」と明記されているため、定まったものさしで、子ども一人一人の人格の評価をするということにはならないと考える。

### 戦後70年、小中学生や市民に先の戦争をどう伝えるか

**Q** 満州事変からの戦争論、戦陣訓で突き進み、富士見



富士見台霊園にある忠魂碑

【他の質問事項】  
教育委員会制度の改革について

### 戦争の記憶を伝える取り組みを推進する

**A** 非核平和と都市宣言文の配布や啓発のための看板の設置等広く周知している。平和の理念を学び、後世に引き継ぐことは大変重要と考えるので、学校においても授業で戦争に触れる時間を設け、命の尊さや平和な世界を目指すための学習に取り組んでいる。

台霊園東側の忠魂碑には二千九百三十一柱がまつられている。生徒や市民に正しく伝える平和教育をどうすすめるか。



**内陸フロンティア推進区域  
「大坂・土方地区」への  
取り組みは**



**Q** 内陸フロンティア推進区域指定要件の中に「取り組みや事業の実施が確実な区域」とあるが、現在の取り組み状況を伺う。

**計画に即した事業着手に努める**

**A** 平成二十九年度の事業実施を目指し、昨年十月には事業推進準備委員会を設置するとともに、二月には地権者説明会を実施した。今後も更なる企業誘致活動と合わせて事業の具体化を進めるために努力していく。

**土砂災害危険箇所への周知は**

**Q** 掛川市の土砂災害危険箇所数は、今年度から三年間で一三六ヶ所が追加指定され、一〇〇ヶ所になる。今後どのように危険箇所を周知を図っていくのか、これから指定される地域も含めて考えを伺う。

**地区説明会でハザードマップ、防災ガイドブックを活用**

**A** 市と県で基礎調査を実施し、今年から結果を県のホームページで公表する。その後、該当地区で説明会を実施し、県の指定後に、ハザードマップを作成し、指定地区及び各戸に配付する。

また、今年四月に全戸配付した掛川市防災ガイドブックを活用するとともに、年内を目途に市のホームページを作成し、危険箇所などの周知を図り、実効性のある防災訓練も合わせて実施していく。

**【他の質問事項】**

海岸防災林強化事業「掛川モデル」の整備について



土砂災害の危険を知らせる看板

**公共施設等総合管理計画を伺う**



**Q** 市内二百四十五ヶ所の公共施設に対し、総合管理計画が策定され白書の作成へと進むが、現在の進捗状況について伺う。

**第二次掛川市総合計画との整合性を図りながら取り組む**

**A** 昨年度収集した基礎データを基に「公共施設白書」を作成する。合わせて、公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進するための基本的な方針を示す「公共施設等総合管理計画」を策定する。

二十八年度以降においては、この計画に基づき、より具体的な適正配置や保全などの「マネジメント計画」の策定を進めていく。

**連雀・中町の老朽化建物の検討を伺う**

**Q** 二十年前、連雀北街区商業活性化計画が白紙となり、また、中心市街地活性化計画の二期目がスタートしたが、老朽化が進む地区の再々開発検討事業と今後、権利者をまとめるにあたって行政や民間の協力が不可欠だと思いがいかがか。

**各種団体と行政が一緒になり勉強会を検討する**

**A** 平成二十六年に策定した中心市街地活性化基本計画は、まちなかの賑わい創出、居住の促進、交流人口の増加の三つの目標を掲げ、人口減少、少子高齢化社会に対応し、誰もが安心して暮らせる生活基盤の確保とまちなかの賑わいを創出する内容である。今後、この計画にも位置づけていることから地元住民のみならず、まちづくり株式会社や各種団体、行政も一緒に勉強会を検討していく。



魅力ある中心市街地への再生を願う連雀中町商店街



## 戦後70年の節目 平和教育の取り組みは



創世会  
鈴木久男

**Q** 戦争当時のことは歳月の流れの中で傳承されることも少なくなつた。沖繩県立第一中学校長(現首里高校)として生徒とともに殉じた藤野憲夫(としお)先生が本市出身であることも知る人は少ない。また、陸軍遠江射撃場の構築物は戦争遺産でもある。今後の平和教育の一助にすべきではないか。

**A** 風化を防ぐためにも今後「記録」し後世に伝えていくことが今後の市に課せられた責務であり、必要なことでは



浜野地区射撃跡には戦争遺産としてコンクリート構築物が残されている

ないかと思つている。また、遠江射撃場など現地への説明看板の設置を進めていきたいと考えている。

### 保育所の待機児童対策は

**Q** 新制度では保育に欠ける子から保育を必要とする子に変わり入所基準が拡大した。多子世帯優先の扱いが必要ではないのか。

### 早期解消を目指す

**A** 1・2歳児のクラスでは、家庭での保育を重視する観点から下のお子さんが生まれると、いったん退所していただき、育休終了に合わせて多子世帯も優先度を上げて再入所しやすくしている。また、これまで入所していた保育所に戻れるよう配慮したり、兄弟姉妹が同じ保育所に入所できるよう調整したりしている。今後は、定員確保にも努めていくとともに、保育所に限らず多子世帯優先の考え方を導入していくことを検討していきたい。

## 世界農業遺産としての 価値を高めるには



創世会  
大場雄三

**Q** 現在イタリアで開催中のミフノ万博において世界農業遺産「静岡の茶草場農法」を出展することだが、どのような形でPRをしていく計画なのか伺う。

### インバウンドも目的の一つとして茶業振興をPRする

**A** 十月十六日に来場者歓迎セレモニーを開催。イベントステージでの呈茶パフォーマンスによるお茶の魅力発信、リーフレット配布や緑茶の効能PR、お茶の香りの演出など世界農業遺産「静岡の茶草場農法」を海外に効果的にPRする予定である。

### 海外戦略をどう進める

**Q** 近年荒茶単価は下落傾向にある、更なるお茶の消費拡大に向けては、海外戦略も不可欠である。期待される輸出に向けた取り組みについて伺う。

### 輸出にかかる課題共有や体制の確立を目指す

**A** リーフ茶の消費減退、茶価の低下など、茶業

を取り巻く環境は大変厳しい状況ではあるが、一方で、国際的には「和食」の世界無形文化遺産登録や健康志向の高まりなど、緑茶に対する世界的評価も高まり輸出量も安定的に伸びている。今後は、輸出に適した茶栽培技術や加工技術などを研究するため、関係機関と連携した「掛川茶輸出対策研究会」の設置を検討していく。

### 【他の質問事項】

第二次掛川市総合計画基本構想について  
マイナンバー制度の導入について



東山地区でのお茶刈り



**新市の交流広場整備は  
小笠山山麓に水辺の公園を**



創造みらい  
中上 禮一

**Q** 子育てで重要なことは、自然をバーチャル的に体験することではなく、自然の中で豊かな感性を育むこと、五感を磨くことだと思う。水辺を生かした交流広場などが必要と思うが。

**公園整備のあり方を研究**

**A** 入山瀬線の開通に伴い、貴重な植物や野鳥の宝庫である小笠山山麓部へのアクセスが向上したので、市民ニーズを把握しつつ、整備のあり方について研究していく。

**歴史・文化の伝承は  
小中学校にガイドクラブを**

**Q** 郷土の史跡や文化を見聞し、将来に語り継いでいくことは郷土愛を育むうえでも、また、未来を担う子ども育成という面でも重要なことだと思うが。

**意欲的に学ぶために今後検討していく**

**A** 郷土の歴史や文化財を未来につなげていくために、社会科学あるいは総合的な学習の時間の中で、地域に残る文化財を調べ学習発表会などを行っている。また、郷土の偉人についても調べ、劇やオペレッタを教育の日に発表している。

ガイドクラブという活動は現在も行っていないが、郷土を愛する心を育むものとして、子どもたちの実態を考慮しながら学校に紹介していきたい。



小笠山山麓の水辺

**男女がともに認め合い  
個性と能力を生かす環境の  
整備を**



無党派の会  
窪野 愛子

**Q** 男女共同参画社会実現のために本年度、女性の教育長と健康福祉部付参画が誕生した。しかし、性別による固定的な役割分担意識は未だ根深い。今後更なる男女共同参画推進を図るための取り組みを伺う。

**積極的な女性登用を働きかける**

**A** 推進委員の出前講座による事業所への在宅勤務制度の普及促進活動、女性登用促進のための研修会や人材育成講座の開催、情報誌などの発行による啓発活動などを行っている。

また、子育て支援や就労支援などの整備環境についても進めていきたいと考えている。

**茶況の低迷打破や今後の掛川茶PRへの取り組みは**

**Q** 基幹産業である茶業の発展に努めてきたが、近年茶価の下落は著しい。更なる掛川茶消費拡大のためには、茶業関係団体等との横断的な連携の強化が必要と思うがいかがか。

**掛川茶のさらなる認知度向上をめざす**

**A** お茶振興課を設置し、生産から流通、販売、研究までを一貫して行っている。また、掛川茶振興協会の事務局も担っているので、生産者、JA、茶商の各組織との連携を図ることができ、より効果的な活動ができていると考える。また「掛川茶ひろめ隊」による地方での出前講座で緑茶効能のPRに努めているため、掛川茶への関心も高く消費拡大への期待が持てる。今後も、この活動を充実させ、販路拡大につながるよう努めていく。



市役所1階に掲げられた  
今年の標語

市役所1階に掲げられた今年の標語





### 本市の介護予防事業のあり方は



**Q** 本市は要介護二、三、四の重度者の割合が県内五番目に高い。介護予防事業を医学的データをもとに目標数値設定、数値の管理や効果検証を行い、より効果にこだわった事業にするべきでは。

#### 地域ぐるみの介護予防をすすめていく

**A** シルバー人材センターやシニアクラブを対象とした、就労と健康維持の関係についての調査と検証を行い、高齢者の就労や社会参加を促進していきたい。また、介護予防の必要性やその方法を習得できる「かるやか健康教室」や地域のリーダー育成のための「ボランティア育成講座」を開催し、地区まちづくり協議会とも連携し、地域ぐるみの介護予防を進めていく。

#### 教育体制の強化を図るべきではないか

**Q** 教育日本一を掲げる本市において、まずは先生と生徒たちが接する時間を

より確保することが先であると思う。その中で本市は近隣市と比べ学校サポーターの数が少ない。「教育日本一はまず人から」と考えるがいかがか。

#### 教育環境の改善に取り組む

**A** 特別な支援を必要とする子どもが年々増加し、平成二十六年度末では七百三十七人となっている。学校サポーターを三年前に比べ七人増員し、二十五校に三十八人を配置して、子どもの困り感に寄り添った支援をしている。

本年度、「教育・文化日本二」を目標として掲げたので、何よりも子ども一人一人が自分の良さを出して、心豊かに輝くことができるよう、学校サポーターを現在の三十八人から大幅に増員し、教育環境の改善に取り組んでいく。

### 浜岡原発再稼働と市民の安全のための万全な安全対策は



**Q** 万が一、浜岡原発事故が起きた場合に、掛川市民の生命と財産を守るために、どのような課題がクリアできれば「万全な安全対策」と考えるのか伺う。

#### 常に高いレベルの安全性を目指す

**A** 万全な安全対策とは、意図的な航空機衝突への対応を含む新規制基準に適合していること、広域避難計画が策定されていること、実効性のあるヨウ素剤配付・服用マニュアルが整備されること、使用済燃料を格納できる乾式貯蔵施設の建設を含む使用済燃料の安全対策がなされること、核燃料サイクル、高レベル放射性廃棄物の最終処分の問題が解決されることなどが必要だと考えている。

#### ごみ処理有料化後のごみ減量化・分別資源化の方策は

**Q** 「ごみ減量日本一」の小金井市と比較すると、掛川市はごみの焼却量は

一・八倍で、資源化量は三分の一である。循環型社会の構築に向けて、焼却量を減らし、よりしっかりと分別資源化を進めるための方策を伺う。

#### 更なる分別を推進

**A** 燃えるごみは、紙類と生ごみの減量を進めていく。紙類は資源物として分別排出の更なる推進を、生ごみは水切りによる減量化を図っていく。また、カンなどは、自治区などによる自主回収を推進し、その販売収益を自治区の活動費に充て、地域での還元を進めていきたい。

1人1日あたりの排出量(g)の比較 (平成25年度)

	掛川市	小金井市
焼却量	536	294
埋立量	10	1
資源化量	95	280
有害物等	-	24
集団回収	7	36
合計	648	634

# 市内の現地を視察

各常任委員会において、5月下旬に所管事務事業の調査として、  
市内の現地視察を実施しました。  
各委員会より現地視察の内容を報告します。

## 総務委員会

### 所管事項

総務部、企画政策部、危機管理部、消防本部、出納局、監査委員、選挙管理委員会、公平委員会及び水道部の所管に属する事項並びに他の常任委員会の所管に属さない事項

### 【視察箇所】

- 上西郷工業用地(西郷)
- 中央消防署新庁舎建設(掛川)
- 市営住宅和田団地(上内田)
- 海岸防災林強化事業
- 「掛川モデル」(沖之須)
- メガソーラー建設用地(大淵・沖之須)
- 津波避難タワー「国安・千浜西」(千浜)
- 免震住宅体験(積水ハウス株式会社静岡工場)(中)
- 「大坂・土方」産業集積区域(大坂・下土方)

市民を守る拠点地域として中央消防署の庁舎建設工事が進んでいます。あらゆる災害に迅速に対応し、市民の負託に応える必要性を改めて認識しました。内陸フロンティア計画地や掛川モデルによる海岸防災林強化工事は、未来を担う重要施策と受け止めました。老朽化した市営住宅和田団地の解体予定地では、時代の流れとともに跡地の有効利用策の重要性を感じました。

総務委員長 鈴木久男



中央消防署新庁舎建設



津波避難タワー

# 環境産業委員会

## 所管事項

環境経済部 都市建設部及び農業委員会の所管に属する事項

### 【視察箇所】

- かけがわ西の市(本郷)
- 「茶草場農法」景観改善事業 実施区域(東山)
- 板沢最終処分場(板沢)
- 大東浄化センター(国安)
- 新規就農者のイチゴハウス(大洲)
- 海岸防災林強化事業 (防波堤整備)(沖之須)
- 市道入山瀬線(入山瀬)
- 東街区再開発事業(駅前)

「掛川の元気は環境産業から」を合言葉に、新たな委員構成による環境産業委員会がスタートしました。今回、元気の原点は現場にあるとの考えのもとに、現場を視察しました。

三十七億六千万円を投資した市道入山瀬線整備事業では沿線活性化施策の検討の必要性及び新規就農者のイチゴハウスでは女性の農業チャレンジの支援施策の充実の必要性を再認識しました。

当委員会では現場の声を大切に、掛川の元気のために活発に議論して施策の充実に努めます。

環境産業委員長 榛葉正樹



市道入山瀬線



東街区再開発事業

# 文教厚生委員会

## 所管事項

健康福祉部、こども希望部及び教育委員会の所管に属する事項

### 【視察箇所】

- 大須賀中学校、屋内運動場(横須賀)
- 大坂小学校屋内運動場(大坂)
- 掛川市教育センター(三俣)
- 千浜小学校屋内運動場(千浜)
- かけがわのぞみ保育園(杉谷南)
- 放課後等デイサービスセンター「はるかぜ」(杉谷南)
- 小笠掛川急患診療所(杉谷南)
- 中部ふくしあ(杉谷南)

今回の現地視察では、ICT活用研究や各種教職員向け研修をはじめ、行政報告や言葉だけでは伝わらない素晴らしいことや難しい課題がたくさんありました。

現場を訪れ自らの目や肌で感じる感覚や担当されている方々の話を聞かせていただくことは議員はもとより職員にとつてもきわめて大事なことでと考えています。

市長の提唱する教育文化日本一、健康子育て日本一はまさに本委員会の政策課題です。現場主義で市民の負託に応える委員会にしたいと考えています。

文教厚生委員長 草賀章吉

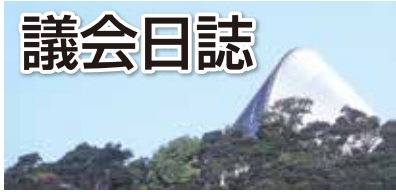


大須賀中学校体育館



放課後等デイサービスセンター「はるかぜ」

# 議会日誌



## 5月

- 21日 ○市議会全員協議会  
○議員懇談会  
○政策討論会全体会
- 22日 ○総務委員会協議会  
○環境産業委員会協議会  
○文教厚生委員会協議会
- 26日 ○文教厚生委員会現地視察
- 28日 ○環境産業委員会現地視察
- 29日 ○総務委員会現地視察

## 6月

- 1日 ○静岡県地方議会議長連絡協議会定期総会(静岡市)
- 4日 ○議会運営委員会  
○議員懇談会
- 9日 ○議会だより編集特別委員会
- 11日～7月6日  
○掛川市議会  
第3回(6月)定例会
- 16日 ○政策討論会幹事会
- 17日 ○全国市議会議長会定期総会(東京都)
- 18日 ○市議会議員共済会  
第110回代議員会(東京都)
- 22日 ○地域医療基本条例制定特別委員会

- 24日 ○議会運営委員会
- 25日 ○議会報告会全体会議
- 26日 ○環境産業委員会協議会  
○文教厚生委員会協議会

## 7月

- 2日 ○議会だより編集特別委員会  
7日～9日  
○総務委員会行政視察(仙北市、横手市、湯沢市)  
○環境産業委員会行政視察(丸亀市、小豆島町、姫路市)  
○文教厚生委員会行政視察(東広島市、備前市、伊丹市)
- 10日 ○議会だより編集特別委員会
- 13日 ○東遠学園組合臨時議会
- 14日 ○議会報告会運営会議

## 9月定例会の予定

- [9月]** 3日 本会議(議案の提案説明)  
16日 本会議(一般質問)  
17日 本会議(一般質問)  
18日 本会議(〔一般質問〕議案質疑、委員会付託)・常任委員会  
28日 一般会計決算特別委員会、特別会計・企業会計決算特別委員会  
29日 一般会計決算特別委員会、特別会計・企業会計決算特別委員会
- [10月]** 7日 本会議(委員長報告、質疑、討論、採決)

## 傍聴席

本会の傍聴には既に何回となく傍観させていただきましたが、二年前より若い議員が意欲的に新たな感覚で登壇されるようになり、同時にベテラン議員も広域的な課題に取り組み、議論がより深まり、これは、議会活性化に喜ばしいことだと思います。

昨今は、全市的に地区まちづくり協議会活動が動き出し、地域の住民はいかにみんなが楽しく暮らし合えるか、そのためにはお互いが、何をどのようにすべきかを考え出さなければならぬ時代を迎えました。そのリーダーの一端を担われる議員も何を考え、また、何を行政にただそうしているのか、市民としても関心大です。

したがって、市議会傍聴案内は、質問議員が地元住民に知らせるだけでなく、市内全域に広報などで事前にテーマと発言者を案内していただければ、関心ある市民は定例会傍聴に向き、そこで関係者もお互いに情報共有できますので「まちづくり」活動にも益するのではないかと思われ、ますので、ご一考ください。

天野 功(中央三丁目)

第九十一回全国市議会議長会定期総会が六月十七日に開催され大石與志登議員、堀内武治議員、鈴木正治議員がそれぞれ表彰を受けられました。

大石與志登議員：一般表彰

(正副議長四年以上及び議員十年以上)

堀内武治議員：特別表彰

(議員二十年以上)

鈴木正治議員：一般表彰

(議員十年以上)

表彰を受けられた

(右から)

大石與志登 議員

堀内武治 議員

鈴木正治 議員



## 議会だよりと

## 議会改革

早稲田大学マニフェスト研究所が平成二十六年度の議会改革のランキングを発表し、その中で、岐阜県可児市議会が前年の百四十三位から十二位と大きく順位を上げました。高校生と議員が地域課題を話し合う「高校生議会」の開催やフェイスブックなどの情報通信技術を活用した情報発信が高い評価につながっています。

私たち編集委員も、今年の課題を読者の皆様がわかりやすく編集することはもとより、スマホやタブレットなどでも議会から発信する情報を身近に受け止めていただく環境を調査研究し、開かれた議会を目指して議会改革を進めてまいります。

議会だより編集特別委員長 山本行男

## 議会だより編集委員

(右から)

小沼秀朗 委員

野口安男 委員

雪山敏行 委員

大場雄三 副委員長

山本行男 委員長

中上禮一 委員

窪野愛子 委員

渡邊久次 委員



※この市議会だよりは、資源リサイクル推進のためグリーン購入法適合再生紙を利用しています。

平成27年8月1日

編集/発行 掛川市議会

静岡県掛川市長谷一丁目1番地の1

☎0537(21)1160

http://www.city.kakegawa.shizuoka.jp